

地方タクシー事業再生・進化推進特別本部 主要要望・意見

〔経営委員会〕 令和7年12月2日

区分	意見・要望	意見・要望の具体的な内容
短期	今期補助事業に関する改善	今期の交通DX・GX等に係る補助申請において、8月5日のメールで唐突に大方の項目について不交付となった旨の通知が多数あり、個別の問合せには一切対応しないとのことでしたが、苦しい経営状況の中で懸命に取り組む業界の実情をご賢察のうえ、会員から寄せられた意見について全タク連を通じて要望いただきたくお願いします。 (1) コロナ後の回復が鈍い地方において、何とか事業再生に向けた取り組みを進めようと、人材確保事業（採用活動、免許取得、教育）、経営改善支援事業（コールセンターシステム）、UDタクシー・ジャンボタクシー導入、乗り場環境整備など、多岐にわたり補助制度を活用しての供給力の改善とサービス品質の向上を目指していました。 今回、乗り場環境整備については交付の決定をいただきましたが、その他はすべて不交付となり、いずれの項目も事業の維持継続に欠かせないリソースを確保するためのものだけに死活問題です。 2次募集実施の予定についても触れられていましたが、採択を確約されるものではなく、早期に補正予算における救済措置の実施を強く要望していただきたく、よろしくお願いします。 (2) 申請期限前であっても、予算枠を大幅に超過するなど事業採択の可能性が無いようであれば、その時点で申請を打ち切るべきではないでしょうか。 申請期限前に申請したにもかかわらず、2カ月半も審査中として中身等に関する何の問い合わせも無いまま、唐突に審査を打ち切られてしまいました。 車両の補助金申請はリース案件であったためリース会社により申請しましたが、上記と同様で審査中のまま何の情報も無いまま打ち切られてしまいました。 また、車両の導入の完了期限が来年2月ということでしたが、メーカーサイドでは補助金事業案件で受注が集中していることに加え、人手不足や部品の納入遅れ等があった間に合わないことが懸念されたため、遅延の可能性に関し問い合わせたら「延長は出来ない」との回答。もっと弾力的な対応が必要ではないでしょうか。 夏～秋頃に二次募集されるとの情報もありますが、いきなり審査を打ち切られた者としては、見送りになった案件をそのままスライドして取り扱いしていただき、お互いに二度手間にならないよう柔軟に対応していただきたい。

〔対応案〕

令和7年度「交通DX・GXによる経営改善支援事業等補助金」一次募集に係る各タクシー協会からの意見・要望は、国土交通省旅客課に伝達済み。

予算額を大幅に超える交付申請があり、多数のタクシー事業者が交付決定を受けられなかったことについて、国土交通省旅客課からは事あるごとに謝罪があった。

既に二次募集の交付申請の受付は10月7日に終了している。

補助金制度のあり方や補助対象については、近日中に各タクシー協会を通じてアンケート調査を実施することとし、その調査結果を踏まえ、次年度以降の補助金について国土交通省に要望していくこととする。

また、12月中に各タクシー協会を通じてUDタクシー車両の導入希望数に係るアンケート調査を実施することとする。